

氏名	小池 祐士	部署	作業療法学科	職名	助教
研究分野	作業療法・福祉用具・アームロボット・排泄・ADL・地域・リハビリテーション・3Dプリンタ				
学位	博士（保健学）				
学歴	2007年 弘前大学医学部保健学科作業療法学専攻 卒業 2009年 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期課程 修了 2015年 弘前大学大学院保健学研究科 博士後期課程 修了				
経歴	2011年 弘前大学大学院 保健学研究科 助手 2015年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 作業療法学科 助教				
所属学会 (役職)	世界作業療法士連盟, 日本作業療法士協会, 埼玉県作業療法士会(理事), 理学療法科学学会, 日本公衆衛生学会, 日本AMPS研究会, A-ONE研究会, 認知神経リハビリテーション学会, 日本老年療法学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	3Dプリンタを用いた自助具作製教育プログラムの効果検証	共同	第57回日本作業療法学会	○小池祐士, 押野修司, 笹尾久美子, 久保田富夫		2023.11	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	アームロボットを用いた用手運動療法の教育シミュレータ開発と教育効果の新規的検証		研究代表者	2020.4-2024.3		
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	通所介護における社会的自立を促進する自立支援型機能訓練マネジメントモデルの構築		研究分担者	2021.4-2024.3		
3	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	認知機能に障害のある高齢者における歩行時の視線特性を活かした転倒予防策の考案		研究分担者	2023.4-2027.3		
4	共同研究（埼玉大学）	個別化された補助装置を製造するための3Dプリンティング パイプラインの開発		研究代表者	2023.6-2024.3		
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	生活環境技術学 (学部：3年)	○	12	福祉用具や3Dプリンタ自助具, 住環境調整に関わる基本的な知識や実際の現場での状況について, 講義を行った.			
2	地域作業療法学 (学部：3年)		4	地域作業療法学に関する知識・技術について, 講義を行った. また, 障害のある当事者を招き, 講演サポートを行った.			
3	リハビリテーション教育学Ⅰ (大学院前期/後期課程)		1	ハラスメントの事例について, 講義・演習を行った.			

4	リハビリテーション教育学Ⅱ (大学院前期/後期課程)		1	臨床実習の変遷, クリニカルクラークシップなどについて, 講義・演習を行った。
5	機能適用支援系作業療法学特論 (大学院前期課程)		1	ロボティクスリハビリテーションに関する研究について, 講義を行った
6	生活環境支援系作業療法学特論 (大学院前期課程)		1	ADLに関する研究について, 講義を行った。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	生活環境技術学演習 (学部:3年)	○	12	臨床で使用する福祉用具や自助具, 3Dプリンタを活用した自助具の作成に関する演習を行った。
2	作業療法総合演習 (学部:4年)		15	国家試験に関するサポートを行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	身体機能作業療法評価学実習 (学部:2年)		2	作業療法に関する評価の実際について, 講義を行った。
2	日常生活活動学実習 (学部:3年)		6	基本動作・食事・排泄などの日常生活に関する知識・技術について, 講義・実習を行った。
3	ヒューマンケア体験実習 (学部:1年)		4	グループの学生へのオリエンテーションや, 学内実習でのファシリテーション, 報告会のサポートを行った。
4	臨床作業療法技能実習 (学部:2年)		6	作業療法に関する臨床実習に必要な知識や技術等の指導のサポートを行った。
5	作業分析学実習 (学部:2年)		12	3Dプリンタを活用した自助具に関する講義・実習を行った。
6	義肢・装具学実習 (学部:3年)		3	3Dプリンタを活用した自助具に関する実習のサポートを行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4-2023.11	主指導 5名	副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	作業療法研究B	2023.6~2024.3	3Dプリンタでの自助具開発に関する講義, 作製の指導を行った。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修	日本作業療法士協会	身体障害	2023.07
2	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使ってみよう (小学生)	2023.07
3	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使った作業療法 (高校生)	2023.07
4	子ども会イベント	埼玉県立大学	3Dプリンタを使ってみよう (千間台西二丁目自治会 子ども会)	2023.07
5	日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修	日本作業療法士協会	身体障害	2023.07
6	リアル体験教室	埼玉県	3Dプリンタを使う作業療法士になりたい	2023.07
7	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使った作業療法 (中学生)	2023.08
8	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使った作業療法 (小学生)	2023.08

9	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生：訪問看護ステーションひまわり）	2023.09
10	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生：訪問看護ステーションアクティホーム）	2023.10
11	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生・保健医療福祉専門職：療育センターさくら草）	2023.10
12	埼玉県 高齢者元気力アップ応援事業所 認証事業 通所介護事業所向け研修	埼玉県	生活行為の課題分析、活動・参加目標を達成する機能訓練プログラム立案	2023.11
13	日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修	日本作業療法士協会	身体障害	2023.12
14	埼玉県 高齢者元気力アップ応援事業所 認証事業 通所介護事業所向け研修	埼玉県	LIFEを意識した目標設定、生活行為の細分化、プログラム立案	2023.12
15	現職者共通研修	埼玉県作業療法士会	作業療法の可能性	2023.12
16	埼玉県 高齢者元気力アップ応援事業所 認証事業 通所介護事業所向け研修	埼玉県	LIFEを意識した目標設定、生活行為の細分化、プログラム立案	2023.12
17	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生・保健医療福祉専門職）	2023.12
18	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生・保健医療福祉専門職：埼玉セントラル病院）	2023.12
19	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（保健医療福祉専門職：東京都リハビリテーション病院）	2023.12
20	高次脳機能障害者 サポーター養成講座	品川区障害者地域活動支援センター逢「あえる」	高次脳機能障害とは	2024.01
21	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生・保健医療福祉専門職：埼玉みさと総合リハビリテーション病院）	2024.01
22	高次脳機能障害者 サポーター養成講座	品川区障害者地域活動支援センター逢「あえる」	高次脳機能障害の症状への支援方法	2024.02
23	高次脳機能障害者 サポーター養成講座	品川区障害者地域活動支援センター逢「あえる」	高次脳機能障害を持つ当事者からの講話・自立訓練事業の見学	2024.02
24	高次脳機能障害者 サポーター養成講座	品川区障害者地域活動支援センター逢「あえる」	模擬事例を用いた事例検討演習	2024.02
25	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生・保健医療福祉専門職：上尾中央総合病院）	2024.02
26	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生：佐野市民病院）	2024.02
27	東部ブロック研修会	埼玉県作業療法士会	臨床実習&就職前 相談会	2024.03

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県作業療法士会	理事・東部ブロック長	2015.06～現在
2	埼玉県作業療法士会	埼玉県作業療法学会査読委員	2019.11～現在
3	日本作業療法士協会	学会演題査読委員	2014.12～現在
4	日本作業療法士協会	事例報告登録制度審査委員	2016.09～現在

5	日本作業療法士協会	代議員	2016.09～現在	
6	日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」査読者	2019.04～現在	
7	埼玉県作業療法士会	学会支援委員会 委員長	2021.06～現在	
8	ICTリハビリテーション研究会	3Dプリント自助具デザインコンテスト 実行委員	2023.04～現在	
9	日本老年療法学会	教育委員	2023.07～現在	
10	全国リハビリテーション学校協会	「リハビリテーション教育研究」査読者	2023.10～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	アルファクラブ武蔵野株式会社	ベルヴィ春日部／越谷食堂の企画・運営	2020.4～現在
2	地域貢献活動	脳卒中片麻痺者（草加市）	脳卒中片麻痺当事者の会「うちにおいでよ」支援	2022.10～2023.07
3	地域貢献活動	失語症者（越谷市）	失語症当事者の会「のんびり おしゃべりしようね会」支援	2023.09～現在
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	学科ホームページ委員		2016.4～現在
2	学科等における委員会等	ヒューマンケア実習室担当者		2016.4～現在
3	学生支援	国家試験対策の支援		2015.4～現在
4	学生支援	就職等の相談・支援		2015.4～現在
5	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会 部員		2021.4～現在
6	全学的委員会及びセンター業務等	ヒューマンケア実習室管理部会 部員		2021.6～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	病態解析装置とそれを用いたリハビリテーション技術教育装置	特許第6307210号	2018.3～現在	
2	紐引き股割れパンツ－脳卒中片麻痺者用－	特許第6372882号	2018.7～現在	
8. 特記事項				
1	該当なし			